

東京電力 PG と関西送配電の事業展望

講師

東京電力パワーグリッド株式会社 事業開発室 室長 藤村 仁 氏
関西電力送配電株式会社 フロンティアラボ 所長 竹田 圭一 氏

日時 2025年4月16日(水) 午後1時～3時10分

受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

I. 東京電力パワーグリッド株式会社における国内事業領域拡大戦略

藤村 仁 氏 【13:00～14:00】

人口減少や省エネの進展等により、これまで減少傾向にあった電力需要は、GX・DX等の進展に伴う半導体工場やデータセンター等の新增設を主要因として、今後、増加に転じる見通し。一方、再生可能エネルギーの大量導入により、電力需要と供給において“導入場所”や“季節間”でのギャップが生じており、送配電設備の増強など電力供給における課題が顕在化している。また、レジリエンス強化やカーボンニュートラルへのニーズの高まりから、一般送配電事業者に求められる役割は変化している。

これらの情勢変化に対し、当社は、送配電事業において磨き込んだ経営資源を活かして、地域・社会やお客さまのニーズに基づく付加価値の提供と、送配電事業の課題解決を両立する事業の展開・拡業による事業領域拡大を目指しており、本講演では、当社の目指す方向性、事業領域拡大に向けた取り組み状況についてご紹介する。

1. 東京電力パワーグリッドを取り巻く事業環境の変化
2. 東京電力パワーグリッドの経営戦略
3. 事業領域拡大の考え方
(1)プラットフォームを活用した事業展開 (2)具体事業例
4. まとめと今後の課題
5. 質疑応答/名刺交換

II. 託送事業の進化・変革への挑戦 ～“Future Initiatives”で拓く未来社会～

竹田 圭一 氏 【14:10～15:10】

「エネルギーでつながりを生み、未来をつくりだせ。」

カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの拡大や、激甚化する自然災害に対するレジリエンスの強化等、電力ネットワークに対するニーズは、今後ますます多様化・複雑化していくと考えられる。先行きが不透明な将来に向けて、一般送配電事業者だからこそ担える役割がある、それが託送事業の進化・変革であると、関西電力送配電は考えている。

託送事業の進化・変革とは何か、創りたい未来社会像と、その実現のためにどう動き出そうとしているのか、具体的な取組みとともにご紹介する。

1. 関西電力送配電グループビジョン
2. Future Initiatives
 - ・主題「At the Frontier of Energy Leadership」に込めた想い
 - ・未来社会像(Carbon Neutrality/Resilience/Co-creation)
 - ・エネルギープラットフォーマー
 - ・3Eの進化と更なる価値提供
 - ・進化・変革に向けた第一歩
3. 質疑応答/名刺交換

